

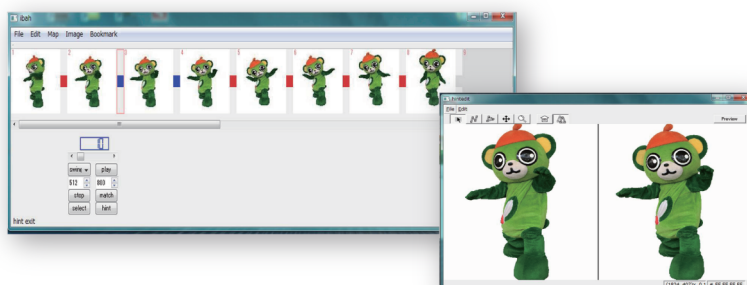


一般社団法人 日本コンテンツ振興機構

落葉の季節となってまいりましたが、  
皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

CPO-JP 会報 11 月号をお届けいたします

1. ご挨拶 専務理事 野口 和紀
2. 平成 27 年度 10 月 20 日 運営委員会 議事録 事務局
3. 技術委員会報告 技術委員会委員長 伊藤 暢啓
4. 「iShaDo」「ProMorph」アプリとは 新聞 敏雄



# 1. ご挨拶

今年も残すところ、一月となり、気持ちばかり急いで参ります。

皆さまの2015年は、どんな一年でございましたか？

今年は、パリのシャルリー・エブド社の襲撃という、暗いニュースからスタートしました。

その後、有志連合の空爆、そして、先日のパリでの同時多発テロと、報復合戦の凄惨さが際立ち、負のスパイラルを解決することの難しさを突き付けられた一年でした。

ほぼ同時期に設立となったTPPやAIIBは世界の大きなうねりであり、現象としてのユーロ圏、北米圏とISの対立も含め、その既成の国家感の中において、国境の概念が稀薄になってきている現れだと感じております。このうねりは、コンテンツ業界も無関係ではありません。

9月に日本市場に参入したアメリカ配信大手の動向を見ても、日本のコンテンツ制作業界は、世界を意識せざるを得なくなりました。

配信勢力の拡大におけるボーダレスの波は、領土紛争を想定しません。

コンテンツは、良いものさえ創れば広まります。

私も、よく海外に参りますが、「日本のアニメーションを作っています」と言うと、ほとんどの方が歓迎してくれます。

そして必ず、アニメーションで日本語を憶えましたという人と出会います。

アベノミクスのインバウンド戦略は、外国の方に日本に来て貰って、日本の良さを知って貰うことにありますが、我々のコンテンツ配信については、その先を見据えています。



日本コンテンツ振興機構 専務理事

野口 和紀

株式会社スタジオディーン 代表取締役

当機構は、会員各社様のコンテンツの制作力と発信力を強めていく事を強く意識し、行動して参りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

そして今月より、web ページをリニューアル致しました。

当機構としての情報発信も強化して参りますので、よろしくお願ひ致します。

この一年、当機構をご支援頂き、有難うございました。

来年も頑張つて参りますので、旧倍のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

未筆ではございますが、皆様のご健勝をお祈り致しております。

有難うございました。

2015年11月21日  
日本コンテンツ振興機構  
専務理事 野口和紀

## 2. 平成27年度10月20日 運営委員会 議事録

日時：27年10月20日（火曜日）16:00～18:00

会場：日本アイ・ビー・エム・箱崎本社

議長：野口和紀

### 1. 事務局から報告

CPO-JP 新サイトに関して

CPO-JP サイトリニューアルに関して提案とデザイン案の承認が行われた。

リニューアルオープンは2015年11月1日を予定とする。

関連して

サイトへ掲載する記事に関しては素材や原稿などのスケジュールを厳守すること。

次回にスケジュール等の詳細を決める。

記事に執筆者の写真もしくは似顔絵を載せるなどの工夫をすること。

### 2. 技術委員会より報告

10月13日 技術委員会にて伊藤はくぶん氏の「ibah」操作説明などのレクチャーを行ったことを報告した。

11月17日の理事会から12月の運営委員会までの間に技術委員会を開催する。

11月の技術委員会は開催せず、→12月に技術委員会を開く方向で検討する。

伊藤博文氏から、「ibah」の一般配布をサイトで行いたいとの意見が出された。

### 3. 事業委員会より

新事業展開実現可能性調査事業について会員からの申し出がなかった旨が報告された。

パラリンピック企画は継続する。

グリフォンエンタープライズからデジタルフィギュア「ちゃるる」について説明があり、

CPO-JPの「推薦」が欲しいという提案が出された。運営委員会はそれを承認した。

### 4. 近況報告

出席会社より近況報告が行われた。

次回の日程は11月17日に行われる理事会にて決める。

## 3. 技術委員会報告

10月13日技術委員会にて、伊藤はくぶん氏より本機構にご提供頂きましたアプリケーションソフトについて下記メンバーに於いて協議いたしましたので、ご報告いたします。

・参加会員者

株式会社スタジオディーン

株式会社スタジオ雲雀

株式会社キュー・テック

株式会社ヨコシネディーアイエー 以上、4社

・内容

「iShaDo」「ProMorph」（以下「本アプリ」という）の技術検証について

1. 伊藤はくぶん氏より本アプリの使用方法及び技術的な説明を受けた。

参加4社についてはテストが始められる状況になりました。

2. 今後の進め方について

・12月中に各社検証を進め、1月の技術委員会で各社レポートを提出する。

・次回技術委員会（11月又は12月）にて各社進捗報告を発表する。

以上です

委員長 伊藤暢啓（株）キュー・テック

## 4. 「iShaDo」「ProMorph」アプリとは

<はじめに>

CPO-JP 技術委員会では、「最新技術の研究、啓蒙、学習」という本委員会テーマに足りうる今年度の「研究課題・材料」調査を続けてまいりました。

特に、近年では「アニメーション制作におけるワークフローの改善」および「デジタル技術を駆使した新しいワークフローの導入とデジタル教育」がCPO-JP全体でも話題となっており、関連する最新デジタル技術～特に、デジタル・アニメーション作画における「自動中割機能」等の自動画像補完技術～動向に対する注目が（各種定例会議の垣根を越えて）集まっております。

そのようなタイミングにて、「自動画像補完技術」の最先端を行くテクノロジー・ソリューション&アプリケーション「iShado」に出会えたことは何かの縁であると思えます。

単に「革新技術」のみならず周辺の文化（カルチャー）や市場をも巻き込むようなスケールの大きな「テクノロジー・ソリューション」であることから、今後は新規ビジネスを研究する「事業委員会」としてのテーマ遡上も期待されております。

そういった側面も考慮し、複数回に分けての記事掲載とさせていただきます。



日本コンテンツ振興機構 技術委員

新間 敏雄

株式会社スタジオディーン

まずは「What's "iShaDo" ?」「iShaDo って何？」を初回テーマとしたいと思います。

## <What's "iShaDo" ? >

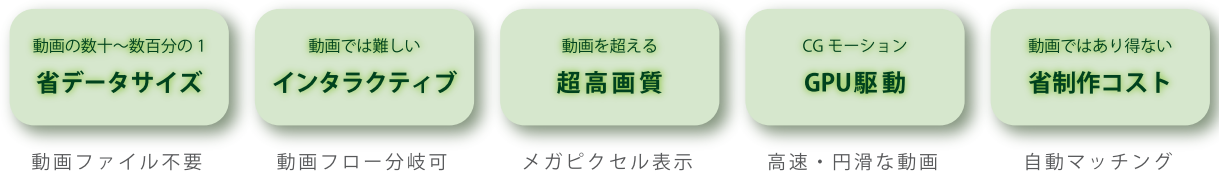
まずは、その特徴を簡単に。。。。

### ① 「ソリューション」 キーワード&コンセプト

- ・次世代型レンジキュレーター
- ・新世代の Flash (フォーマット、プレイヤー)

### ② 「テクノロジー」 キーワード&コンセプト

- ・リアルタイム・モーフィング
- ・「リアルタイム、インタラクティブ」な画像特徴点認識 (解析) エンジン、アルゴリズムなど、5つのキーコンセプトで構成されています。(下図表)



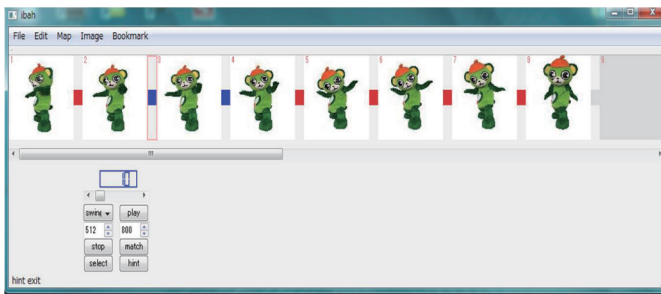
- ・数枚の (静止画) を、端末上でリアルタイムに動画化し、瞬時にシェアする技術。  
一切動画ファイルを介さず、WebGL、OpenGL、Stage3D 上で写真を動画化することができる。  
また、動画の流れをインタラクティブに制御可能となっている。

その昔、CG 業界を席卷した「モーフィング」を「半自動演算し、GPU を活用したリアルタイム処理」により実現した技術と言ったほうが、馴染みのある都合の良い特徴表現です。

### ③ 「iShaDo アプリ」 ソリューションと特徴

- ・編集&オーサリング専用アプリ「ibah」（アイバー）

モルフォ社の「MMMT（Morpho Morphing Matcing Tool）」をマッチング・エンジンとし、「伊藤はくぶん氏」開発による「iShaDo アプリ群」の一つ。  
PC（Windows OS）アプリとして動作する。



「ibah」編集画面①

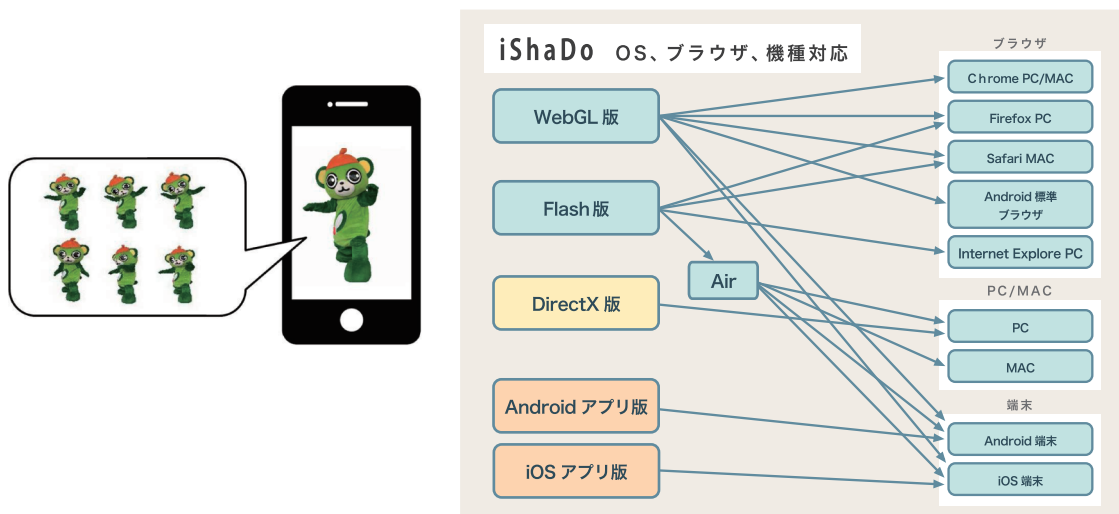


「ibah」編集画面②

- ・iShaDo アプリ専用ビューワー「ProMorph」（プロモーフ）

GPUを直接駆動し、メガピクセル画像を滑らかな動画として表示できるスマホ専用ビューワー（Android OS、iOS 対応）である。

\*PC版ビューワーは前述「iBah」に搭載（同梱）されています。



今回のご紹介は以上です。

次回は、その応用用途、評価レビュー、開発者である「伊藤はくぶん氏」の話も交えての記事を予定しております。



編集責任者 専務理事 野口 和紀

ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。

**一般社団法人日本コンテンツ振興機構**

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 4-4-13

事務局 TEL: 0422-35-3305 FAX: 0422-70-3073